

「大丈夫な社会」って何ですか？



笠井清登

日本統合失調症学会 事務局長
東京大学医学部附属病院 精神神経科



大丈夫な社会

「大丈夫な社会」というのは、「丈夫じゃなくてもダイジョウブな社会」という意味です。

私は、日本統合失調症学会という学術団体（福田正人理事長（特集5の執筆者））を運営しています。

約10年前、学会の監修で精神科専門医向けに統合失調症の教科書を作りました。

当時の医学書としては画期的なこととして、精神疾患を自分自身や家族として経験したことという意味での「専門家」である当事者や家族に原稿を寄せていただきました。

その後私は、高校の保健体育の教科書で精神疾患について執筆しました。

このとき「予防」をどう伝えるかを考えました。

○刻まれた言葉……………

その中で、現・全国精神保健

健福社会連合会（みんなねつ

医学とは、病気において予

防をめざすことはあたりまえ

であり、病気の原因や病気にかかりやすくなる環境因子を

突き止め、それを取り除くこ

とです。

しかし精神疾患に、こうし

た予防概念を単純に当てはめてよいでしょうか？

精神疾患を経験している人



と）理事長の岡田久実子さんが書かれた「統合失調症になつても大丈夫な社会」とい

う言葉が私の心に深く刻まれました。

は「ならないほうがよかつたものになつてしまつた後の

人」なのでしょうか？

経験の専門家の声を聴き、

その方々の人生に畏敬の念が湧けば湧くほど、「予防」と

いうことを単純に考えていた

自分を反省するようになります。

○予防より先に……………

「大丈夫な社会を創るほうが先ではないだろうか？」

経験の専門家と支援の専門職の共同創造（コ・プロダクション）

により、大丈夫な社会を創ろうとする過程 자체が、ひいては心の健康社会、心の不調に備える社会、すなわち予防ということにつながるのでないかと考えました。

2つの大丈夫な社会

「大丈夫な社会」という言葉には、「①社会の中の個人にとつて大丈夫な社会」と、

「②その社会自身にとつて大丈夫な社会」という2つの意味がこめられていると思います。

前者①は「障害などがあつても大丈夫な社会」というふうの意味ですが、後者②は「そうした社会は、社会のありかたとして大丈夫な社会である」という意味です。

つまり、①は個人から出発

する視点、②は社会から出発する視点という意味です。

後者②は少しわかりにくいですが、「大丈夫な社会が、

大丈夫ではなくなる状態に簡単にはおちいらない」ということです。

○大丈夫な社会の支え……

に支えるのは、障害のあるな

にかかわらず、誰をも排除

することのない社会をめざす

一人ひとりの心がけであつたり、それらの心の集合として

の文化や風土だつたり、ある

いは人権を守る制度だつたり

します。

○経験専門家が医療人に：

として、今まで医療の支援対象であつた疾患や障害による苦労の経験がある人（経験専門家）が、医療人として

なる学生に、大丈夫な社会

の担い手になる素養を身につけています。

○私が踏み出したこと

政治家になるか、たくさんの署名を集める運動などをしないと実現しないのでしよう

か？ そうではありません。私が勤めている病院の仲間に加わっていただきたり、ピアス

アサポートワーカーに自分の第一歩を踏み出し（小さな実験を始めて）、コツコツ積み重ねることが大事だと気づかされました。

また、障害があつても医師をめざせるためのセンターを作つたり、将来医師や看護師

タッフを養成する講座を運営したりしています。

さらに活躍できる社会へ

